

アジア好利回り リート・ファンド 【運用報告書(全体版)】

第19作成期 (2020年9月15日から2021年3月12日まで)

第 109 期 / 第 110 期 / 第 111 期
決算日2020年10月12日 決算日2020年11月12日 決算日2020年12月14日

第 112 期 / 第 113 期 / 第 114 期
決算日2021年1月12日 決算日2021年2月12日 決算日2021年3月12日

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／不動産投信
信託期間	2011年9月30日から2025年9月12日まで
運用方針	投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	当ファンドは以下の投資信託証券を主要投資対象とします。 SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス) 日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託 マネー・マーケット・マザーファンド 円貨建の短期公社債および短期金融商品
当ファンドの運用方法	■主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）を実質的な主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ■外貨建資産について、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
組入制限	■外貨建資産への直接投資は行いません。
分配方針	■毎月12日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。 ■分配対象額は、経費控除後の利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の範囲内とします。 ■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 ※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは投資信託証券への投資を通じて、主として、日本を除くアジア各国・地域（オセアニアを含みます。）の取引所に上場している不動産投資信託（リート）等に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。



〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

アジア好利回りリート・ファンド

■ 最近 5 作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入 比率	投資信託 証券組入 比率	純資産 総額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率			
第15 作成期		円	円	%	%	%	百万円
	85期 (2018年10月12日)	6,606	60	△ 3.4	0.0	98.0	180,462
	86期 (2018年11月12日)	6,760	60	3.2	0.0	99.0	180,082
	87期 (2018年12月12日)	6,864	60	2.4	0.0	98.1	178,115
	88期 (2019年1月15日)	6,707	60	△ 1.4	0.0	98.3	170,892
	89期 (2019年2月12日)	7,042	60	5.9	0.0	97.2	175,768
第16 作成期	90期 (2019年3月12日)	7,166	60	2.6	0.0	98.5	170,717
	91期 (2019年4月12日)	7,316	60	2.9	0.0	98.1	171,315
	92期 (2019年5月13日)	7,121	40	△ 2.1	0.0	97.0	165,204
	93期 (2019年6月12日)	7,367	40	4.0	0.0	97.4	164,459
	94期 (2019年7月12日)	7,630	40	4.1	0.0	98.2	163,653
	95期 (2019年8月13日)	7,118	40	△ 6.2	0.0	98.3	150,996
第17 作成期	96期 (2019年9月12日)	7,181	40	1.4	0.0	98.0	152,439
	97期 (2019年10月15日)	7,271	40	1.8	0.0	98.1	154,483
	98期 (2019年11月12日)	7,216	40	△ 0.2	0.0	96.7	152,658
	99期 (2019年12月12日)	7,183	40	0.1	0.0	98.2	152,650
	100期 (2020年1月14日)	7,480	40	4.7	0.0	97.6	158,473
	101期 (2020年2月12日)	7,412	40	△ 0.4	0.0	97.9	154,218
第18 作成期	102期 (2020年3月12日)	6,566	40	△ 10.9	0.0	98.1	135,355
	103期 (2020年4月13日)	5,556	40	△ 14.8	0.0	96.8	113,539
	104期 (2020年5月12日)	5,703	40	3.4	0.0	98.1	116,531
	105期 (2020年6月12日)	6,125	40	8.1	0.0	98.3	124,920
	106期 (2020年7月13日)	6,091	40	0.1	0.0	98.2	123,470
	107期 (2020年8月12日)	6,368	40	5.2	0.0	98.1	127,196
第19 作成期	108期 (2020年9月14日)	6,440	40	1.8	0.0	98.4	126,555
	109期 (2020年10月12日)	6,509	40	1.7	0.0	97.8	126,421
	110期 (2020年11月12日)	6,498	40	0.4	0.0	98.2	124,288
	111期 (2020年12月14日)	6,521	40	1.0	0.0	98.2	121,530
	112期 (2021年1月12日)	6,674	40	3.0	0.0	98.1	122,412
	113期 (2021年2月12日)	6,681	40	0.7	0.0	97.2	119,903
	114期 (2021年3月12日)	6,634	40	△ 0.1	0.0	98.4	117,673

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債券組入 比 率	投資信託 証券組入 比 率
		円	騰 落 率		
第109期	(期 首) 2020年9月14日	6,440	—	0.0	98.4
	9月末	6,427	△0.2	0.0	96.6
	(期 末) 2020年10月12日	6,549	1.7	0.0	97.8
第110期	(期 首) 2020年10月12日	6,509	—	0.0	97.8
	10月末	6,114	△6.1	0.0	97.5
	(期 末) 2020年11月12日	6,538	0.4	0.0	98.2
第111期	(期 首) 2020年11月12日	6,498	—	0.0	98.2
	11月末	6,587	1.4	0.0	98.5
	(期 末) 2020年12月14日	6,561	1.0	0.0	98.2
第112期	(期 首) 2020年12月14日	6,521	—	0.0	98.2
	12月末	6,740	3.4	0.0	97.3
	(期 末) 2021年1月12日	6,714	3.0	0.0	98.1
第113期	(期 首) 2021年1月12日	6,674	—	0.0	98.1
	1月末	6,652	△0.3	0.0	98.5
	(期 末) 2021年2月12日	6,721	0.7	0.0	97.2
第114期	(期 首) 2021年2月12日	6,681	—	0.0	97.2
	2月末	6,724	0.6	0.0	97.7
	(期 末) 2021年3月12日	6,674	△0.1	0.0	98.4

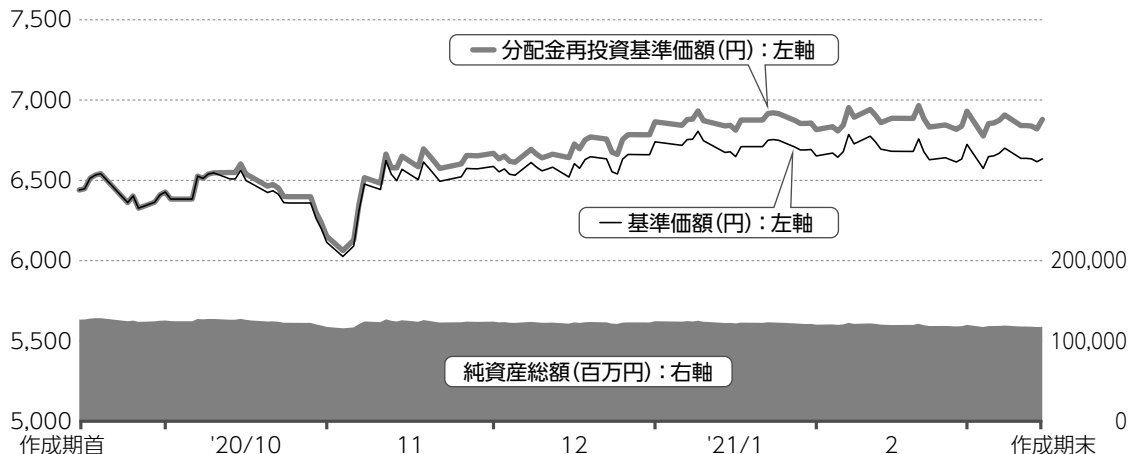
※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

※当ファンドは親投資信託を組み入れますので、比率は実質比率を記載しています。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年9月15日から2021年3月12日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	6,440円
作成期末	6,874円 (当作成期分配金240円(税引前)込み)
騰落率	+6.8% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因(2020年9月15日から2021年3月12日まで)

当ファンドは、投資信託証券への投資を通じて、主として日本を除くアジア各国・地域(オセアニアを含みます。)の取引所に上場している不動産投資信託(リート)等に投資しました。

なお、外貨建資産については、対円での為替ヘッジは行っていません。

上昇要因

- 新型コロナウイルス収束後の景気回復を見据えて投資家心理が改善し、アジア・オセアニアリート市場が上昇したこと
- オーストラリアドルやシンガポールドル、香港ドルが対円で上昇したこと(2020年11月から作成期末)

下落要因

- 欧米での新型コロナウイルス感染再拡大や、投資家心理悪化を受けアジア・オセアニアリート市場が下落したこと(2020年10月)

組入れファンドの状況

組入れファンド	投資資産	作成期末組入比率
SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	外国リート	98.4%
マネー・マーケット・マザーファンド	短期金融資産	0.0%

※比率は、純資産総額に対する割合です。

投資環境について(2020年9月15日から2021年3月12日まで)

アジア・オセアニアリート市場は、香港、オーストラリアは上昇し、シンガポールはほぼ横ばいとなりました。為替市場では、香港ドル、オーストラリアドル、シンガポールドルすべてが対円で上昇しました。

アジア・オセアニアリート市場

アジア・オセアニアリート市場は、作成期初は、域内の新型コロナウイルスの感染状況が総じて落ち着いていたものの、投資家のセンチメント(投資家心理)悪化を背景に軟調に推移しました。11月は、米国大統領選挙後の不透明感の後退、ワクチン開発進展による経済正常化への期待等から、センチメントは改善し、上昇しました。12月から作成期末にかけては、感染拡大状況や経済活動再開状況、金利動向を受けて国ごとにまちまちな推移となりました。

(香港リート市場)

香港リートは、2月以降、感染抑制の規制緩和が発表されたことや、香港政府が中国との越境再開の見通しを示したことが好感されて、力強く上昇しました。

当作成期のS & Pリート指数(香港)は、15.82%上昇しました。

(シンガポールリート市場)

シンガポールリートは、1月以降、内需主導での景気回復が進むなかで、長期金利の上

昇を受けて、これまで堅調に推移してきた産業施設関連リート中心に上値の重い推移となりました。

当作成期のS & Pリート指数(シンガポール)は、0.85%上昇しました。

(オーストラリアリート市場)

オーストラリアリートは、RBA(オーストラリア準備銀行)の金融緩和スタンスや、住宅支援策等の財政政策を好感して作成期初は堅調に推移しました。作成期末にかけては、これまで業績好調で上昇してきた銘柄群中心に長期金利上昇が重石となりました。

当作成期のS & Pリート指数(オーストラリア)は8.24%上昇しました。

為替市場

	作成期首 (円)	作成期末 (円)	円安/円高
香港ドル・円	13.70	14.00	円安
シンガポールドル・円	77.65	81.06	円安
オーストラリアドル・円	77.26	84.62	円安

アジア・オセアニア通貨は、新型コロナウイルスの感染拡大状況、経済活動再開状況、ワクチン開発進展や経済対策への期待を背景に一進一退で推移しました。作成期末にかけてはグローバルでの長期金利の大幅な上昇やリスク選好の動きを受けて円安となりました。

ポートフォリオについて(2020年9月15日から2021年3月12日まで)

当ファンド

「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)」および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象とし、「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)」の高位組入れを維持しました。

SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)

市場動向を注視しながら、個別銘柄の流動性に配慮して慎重に売買を進め、組入比率は高位を保ちました。作成期末の組入銘柄数は35銘柄で、銘柄分散効果でパフォーマンスの安定を図りつつ、個別銘柄を総合的に勘案したウェイト付けで、比較的高いパフォーマンスの享受を狙いました。

● 国別投資行動 (香港)

市場予想を上回る決算を発表し、世界に先駆けて景気回復が見込まれる中国本土での業容拡大姿勢を示した日用品販売を主とする商業施設リートの高位組入れを維持しました。

(シンガポール)

徹底した感染対策により新型コロナウイルス感染拡大が抑制されていることから、いち早く景気回復が期待できるシンガポールの商業施設の買増しや、ホテルリートの新規組入れを行いました。また、投資対象のアセットクラスを拡大する方針を発表し、ポートフォリオのクオリティ改善および中国経済成長の恩恵享受の更なる拡大が期待できるキャピタランド・リテイル・チャイナ・トラストを買い増しました。

(オーストラリア)

当作成期の前半にはオーストラリアでは、政府による新築住宅購入者への補助金政策やRBAによるハト派(景気を重視する立場)的な金融政策継続により好調な住宅市況が継続するとの見方から住宅リートを買増しました。また、作成期の後半には新型コロナウイルス感染の抑え込みが進み業績への見通しが改善しつつあるとともに、堅調な住宅市況の個人消費への波及効果が期待されることから商業施設リートなどを買増しました。

(その他)

マクロ経済や金融政策の動向、個別リートの中期的な成長性に基づき、国・地域分散の観点からも引き続きマレーシア、タイ、インド、ニュージーランドへの投資を行いました。

2021年に入ってから、オーストラリア、シンガポール、ニュージーランドにおいて2020年に好調推移した銘柄を一部売却しています。

マネー・マーケット・マザーファンド

主として、円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指した運用を行いました。

ベンチマークとの差異について(2020年9月15日から2021年3月12日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

アジア好利回りリート・ファンド

分配金について(2020年9月15日から2021年3月12日まで)

当作成期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ40円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
当期分配金	40	40	40	40	40	40
(対基準価額比率)	(0.611%)	(0.612%)	(0.610%)	(0.596%)	(0.595%)	(0.599%)
当期の収益	20	17	19	20	18	15
当期の収益以外	19	22	20	19	21	24
翌期繰越分配対象額	834	812	793	774	753	729

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

当ファンド

「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)」および「マネー・マーケット・マザーファンド」を主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行う方針です。引き続き「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)」の高位組入れを維持します。

SMAM アジア・リート・サブ・トラスト(JPY Unhedged クラス)

新型コロナウイルス感染拡大・抑制が各国でまちまちとなる中、景気の回復度合いも国ごとに違いがみられます。そのような環境下においては、国によって各セクターの業績の出方が異なってくると想定しています。

引き続き個別銘柄のファンダメンタルズ(業績、財務内容などの基礎的諸条件)を重視し、ファンドの基本コンセプトである、「収

益の成長性に加え、配当利回り等のバリュエーションに着目した運用」を行います。感染状況やワクチン普及による物色の変化等にも機動的に対応していきます。外部環境にも留意しながら、個別銘柄選択を重視し、ファンドのコンセプトである「アジアの経済成長の恩恵を享受できる」魅力的な銘柄群に投資する方針です。

また、我々はアジア・オセアニアリートにおいてESGリサーチを行っていますが、コロナ禍を経てESG(環境・社会・ガバナンス(統治))の重要性がさらに高まっています。ESGリサーチを活用したリートとの対話を通じて、ファンドのパフォーマンスの向上、リート市場のサステナビリティ(持続可能性)向上を図っていく所存です。

マネー・マーケット・マザーファンド

円貨建ての短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細(2020年9月15日から2021年3月12日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	36円	0.556%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)
(投信会社)	(9)	(0.135)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(26)	(0.405)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.016)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	3	0.043	売買委託手数料＝期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数
(投資信託証券)	(3)	(0.043)	売買委託手数料：有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	0	0.001	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(監査費用)	(0)	(0.001)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	39	0.600	

期中の平均基準価額は6,540円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

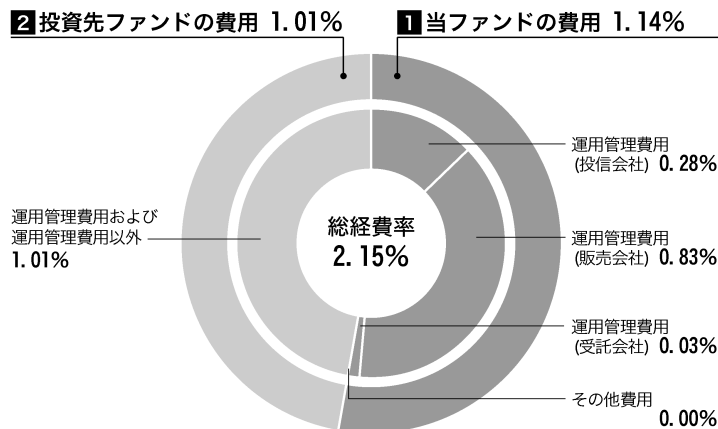
※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

※売買委託手数料およびその他費用は、当ファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

※各項目の費用は、当ファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。当該投資信託証券の費用は後掲の「包括利益計算書」をご覧ください。

参考情報 総経費率 (年率換算)



総経費率(■+■)	2.15%
■当ファンドの費用の比率	1.14%
■投資先ファンドの費用の比率	1.01%

アジア好利回りリート・ファンド

- ※**1**の各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、各比率は、年率換算した値（小数点以下第2位未満を四捨五入）です。「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。
- ※**2**の投資先ファンド（当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く））の費用は、実際に投資しているシェアクラスのデータが入手できない場合は、入手可能なファンド全体のデータをもとに委託会社が計算したものです。運用管理費用と運用管理費用以外の費用を明確に区別できない場合は、まとめて表示しています。投資先ファンドへの平均投資比率を勘案して、実質的な費用を計算しています。
- ※**1**と**2**の費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。また、計上された期間が異なる場合があります。
- ※上記の前提条件で算出している参考値であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した比率に、投資先ファンドの経費率を加えた総経費率（年率）は2.15%です。

■ 当作成期中の売買及び取引の状況(2020年9月15日から2021年3月12日まで)

投資信託証券

		当 作 成 期			
		買 付		売 付	
		口 数	買 付 額	口 数	売 付 額
国内	SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	口 — (1,417,881,062)	千円 — (2,416,315)	口 10,235,909,370	千円 17,552,384
合 計		— (1,417,881,062)	— (2,416,315)	10,235,909,370	17,552,384

※金額は受渡し代金。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年9月15日から2021年3月12日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2020年9月15日から2021年3月12日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

アジア好利回りリート・ファンド

■ 組入れ資産の明細 (2021年3月12日現在)

(1) ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

ファンド名	作成期首	作成期末		
	口数	口数	評価額	組入比率
SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)	□ 74,437,283,880	□ 65,619,255,572	千円 115,844,233	% 98.4
合計	74,437,283,880	65,619,255,572	115,844,233	98.4

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の比率。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

(2) 親投資信託残高

種類	作成期首	作成期末	
	口数	口数	評価額
マネー・マーケット・マザーファンド	千口 99	千口 99	千円 99

※マネー・マーケット・マザーファンドの作成期末の受益権総口数は76,752千口です。

※単位未満は切捨て。

■ 投資信託財産の構成

(2021年3月12日現在)

項目	作成期末	
	評価額	比率
投資信託受益証券	千円 115,844,233	% 97.5
マネー・マーケット・マザーファンド	99	0.0
コール・ローン等、その他	2,994,789	2.5
投資信託財産総額	118,839,121	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

アジア好利回りリート・ファンド

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年10月12日) (2020年11月12日) (2020年12月14日) (2021年1月12日) (2021年2月12日) (2021年3月12日)

項 目	第109期末	第110期末	第111期末	第112期末	第113期末	第114期末
(A) 資 産	128,052,200,048円	125,747,644,633円	122,955,350,811円	124,138,639,438円	121,454,523,353円	118,839,121,618円
コール・ローン等	4,359,940,696	2,999,650,538	3,027,108,241	3,378,891,666	4,964,211,289	2,994,787,842
投資信託受益証券(評価額)	123,692,159,322	122,050,193,475	119,342,903,560	120,126,951,572	116,490,212,064	115,844,233,786
マネー・マーケット・マザーファンド(評価額)	100,030	100,020	100,010	100,000	100,000	99,990
未 収 入 金	-	697,700,600	585,239,000	632,696,200	-	-
(B) 負 債	1,630,444,670	1,458,779,158	1,425,349,051	1,726,312,596	1,550,587,127	1,166,024,689
未払収益分配金	776,885,654	765,074,518	745,518,963	733,620,017	717,898,592	709,535,512
未払解約金	743,662,208	575,546,404	556,871,969	881,362,946	715,413,882	352,912,045
未払信託報酬	109,699,877	117,988,112	122,817,131	111,186,389	117,101,619	103,441,005
未 払 利 息	11,945	8,296	7,464	9,720	12,240	7,794
その他未払費用	184,986	161,828	133,524	133,524	160,794	128,333
(C) 純資産総額(A-B)	126,421,755,378	124,288,865,475	121,530,001,760	122,412,326,842	119,903,936,226	117,673,096,929
元 本	194,221,413,526	191,268,629,747	186,379,740,962	183,405,004,255	179,474,648,191	177,383,878,077
次期繰越損益金	△ 67,799,658,148	△ 66,979,764,272	△ 64,849,739,202	△ 60,992,677,413	△ 59,570,711,965	△ 59,710,781,148
(D) 受益権総口数	194,221,413,526口	191,268,629,747口	186,379,740,962口	183,405,004,255口	179,474,648,191口	177,383,878,077口
1万口当たり基準価額(C/D)	6,509円	6,498円	6,521円	6,674円	6,681円	6,634円

※当作成期における作成期首元本額196,520,579,457円、作成期中追加設定元本額7,778,573,142円、作成期中一部解約元本額26,915,274,522円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

アジア好利回りリート・ファンド

■ 損益の状況

(自2020年9月15日 至2020年10月12日) (自2020年10月13日 至2020年11月12日) (自2020年11月13日 至2020年12月14日) (自2020年12月15日 至2021年1月12日) (自2021年1月13日 至2021年2月12日) (自2021年2月13日 至2021年3月12日)

項 目	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(A) 配 当 等 取 益	418,286,493円	414,284,293円	407,235,898円	392,847,179円	387,981,396円	379,097,628円
受 取 配 当 金	418,534,403	414,532,796	407,451,576	393,104,034	388,184,504	379,344,682
支 払 利 息	△ 247,910	△ 248,503	△ 215,678	△ 256,855	△ 203,108	△ 247,054
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	1,807,876,884	264,088,501	864,369,175	3,253,662,050	548,333,454	△ 403,986,472
売 買 益	2,139,251,651	1,629,194,874	1,050,291,672	3,652,430,622	1,441,880,011	10,386,615
売 買 損	△ 331,374,767	△ 1,365,106,373	△ 185,922,497	△ 398,768,572	△ 893,546,557	△ 414,373,087
(C) 信 託 報 酬 等	△ 109,851,688	△ 118,149,940	△ 122,950,655	△ 111,314,722	△ 117,262,413	△ 103,569,338
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	2,116,311,689	560,222,854	1,148,654,411	3,535,194,507	819,052,437	△ 128,458,182
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△10,123,743,185	△ 8,584,110,850	△ 8,510,200,718	△ 7,915,095,803	△ 4,948,277,696	△ 4,749,796,650
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△59,015,340,998	△58,190,801,758	△56,742,673,946	△55,879,156,100	△54,723,588,114	△54,122,990,804
(配当等相当額)	(6,668,928,843)	(6,632,521,916)	(6,508,747,747)	(6,463,121,952)	(6,395,004,778)	(6,372,137,001)
(売買損益相当額)	(△65,684,269,841)	(△64,823,323,674)	(△63,251,421,693)	(△62,342,278,052)	(△61,118,592,892)	(△60,495,127,805)
(G) 計 (D + E + F)	△67,022,772,494	△ 66,214,689,754	△64,104,220,239	△60,259,057,396	△58,852,813,373	△59,001,245,636
(H) 収 益 分 配 金	△ 776,885,654	△ 765,074,518	△ 745,518,963	△ 733,620,017	△ 717,898,592	△ 709,535,512
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△67,799,658,148	△66,979,764,272	△64,849,739,202	△60,992,677,413	△59,570,711,965	△59,710,781,148
追 加 信 託 差 損 益 金	△59,015,340,998	△58,190,801,758	△56,742,673,946	△55,879,156,100	△54,723,588,114	△54,122,990,804
(配当等相当額)	(6,668,928,843)	(6,632,521,916)	(6,508,747,747)	(6,463,121,952)	(6,395,004,778)	(6,372,137,001)
(売買損益相当額)	(△65,684,269,841)	(△64,823,323,674)	(△63,251,421,693)	(△62,342,278,052)	(△61,118,592,892)	(△60,495,127,805)
分 配 準 備 積 立 金	9,537,575,487	8,913,123,544	8,271,906,099	7,735,717,286	7,131,630,000	6,569,706,697
繰 越 損 益 金	△18,321,892,637	△17,702,086,058	△16,378,971,355	△12,849,238,599	△11,978,753,851	△12,157,497,041

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
(a) 費用控除後の配当等収益	397,645,423円	342,130,193円	367,854,874円	380,858,646円	339,387,917円	275,528,350円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	6,668,928,843	6,632,521,916	6,508,747,747	6,463,121,952	6,395,004,778	6,372,137,001
(d) 分配準備積立金	9,916,815,718	9,336,067,869	8,649,570,188	8,088,478,657	7,510,140,675	7,003,713,859
(e) 分配可能額 (a+b+c+d)	16,983,389,984	16,310,719,978	15,526,172,809	14,932,459,255	14,244,533,370	13,651,379,210
1万口当たり分配可能額	874	852	833	814	793	769
(f) 分配金額	776,885,654	765,074,518	745,518,963	733,620,017	717,898,592	709,535,512
1万口当たり分配金額(税引前)	40	40	40	40	40	40

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第109期	第110期	第111期	第112期	第113期	第114期
	40円	40円	40円	40円	40円	40円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。

■ 組入れ投資信託証券の内容

投資信託証券の概要

ファンド名	SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)
形態	ケイマン籍外国投資信託 (円建て)
主要投資対象	日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託
運用の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・日本を除くアジア各国・地域の取引所に上場している不動産投資信託に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指します。 ※オセアニア地域の取引所に上場している不動産投資信託にも投資を行います。 ・収益の成長性に加え、配当利回り等のバリュエーションに着目した運用を行います。 ・原則として対円での為替ヘッジを行いません。
主な投資制限	<ul style="list-style-type: none"> ・有価証券の空売りは純資産総額の範囲内で行います。 ・純資産総額の10%を超える借入れを行いません。
決算日	毎年2月の最終営業日
分配方針	毎月28日(休業日の場合は前営業日)に分配を行う方針です。
運用報酬等	<p>純資産総額に対して年0.7%程度*</p> <p>*年間最低報酬額等が定められている場合があるため、純資産総額によっては、上記の料率を上回ることがあります。</p>
管理およびその他の費用	<p>ファンドの設立費用、取引関連費用、法的費用、会計・監査および税務上の費用ならびにその他の費用を負担します。</p> <p>その他の費用・手数料については、ファンドの運営状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。</p>
申込手数料	ありません。
信託財産留保額	解約時に0.3%
投資運用会社	三井住友DSアセットマネジメント株式会社
投資助言会社	スミトモ ミツイ DS アセットマネジメント (シンガポール) ピーティーイー・リミテッド
購入の可否	日本において一般投資者は購入できません。

以下には、「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト (JPY Unhedged クラス)」をシェアクラスとして含む「SMAM アジア・リート・サブ・トラスト」の情報を委託会社において抜粋・要約して翻訳したものを記載しています。

■ 包括利益計算書(2019年3月1日から2020年2月28日まで)

(単位：円)

利益	
受取利息、配当収入、純実現利益および損益を通じて公正価値で測定する 金融資産・負債ならびに外貨換算にかかる未実現評価益の純変動	7,750,355,729
費用	
投資運用報酬	876,060,955
取引費用	260,609,726
管理事務代行報酬	127,427,043
保管報酬	83,370,470
名義書換代行報酬	15,972,487
受託報酬	15,928,377
専門家報酬	5,523,711
登録手数料	398,320
支払利息	35,341
費用合計	<u>1,385,326,430</u>
営業利益	<u>6,365,029,299</u>
税引前利益	6,365,029,299
源泉徴収税	<u>(505,000,594)</u>
営業による償還可能受益証券保有者に帰属する純資産の増加	<u>5,860,028,705</u>

アジア好利回りリート・ファンド

■ 投資明細表(2020年2月28日現在)

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	普通株式 (96.2%)		
	オーストラリア (35.9%)		
	不動産投資信託 (35.9%)		
7,960,000	Charter Hall Group	4.8	6,908,750,448
8,654,595	Charter Hall Long Wale REIT Class REIT	2.3	3,346,519,760
7,681,389	Charter Hall Social Infrastructure REIT	1.3	1,837,680,701
5,735,991	Dexus	3.4	4,850,805,807
12,407,332	Goodman Group	9.0	12,925,938,028
7,750,000	GPT Group	2.2	3,115,310,893
30,387,832	Mirvac Group Class REIT	4.5	6,424,586,089
13,540,655	Rural Funds Group	1.3	1,817,476,627
20,970,503	Scentre Group	3.5	5,046,110,995
16,082,598	Stockland	3.7	5,268,038,816
			51,541,218,164
	オーストラリア合計		51,541,218,164
	香港 (9.2%)		
	不動産投資信託 (9.2%)		
2,351,000	Fortune Real Estate Investment Trust	0.2	272,364,915
12,123,500	Link REIT	8.4	12,115,414,837
11,850,000	Sunlight Real Estate Investment Trust	0.5	757,763,009
			13,145,542,761
	香港合計		13,145,542,761
	マレーシア (1.4%)		
	不動産投資信託 (1.4%)		

アジア好利回りリート・ファンド

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
42,850,200	Sunway Real Estate Investment Trust Class REIT	1.4	2,083,480,172
	マレーシア合計		<u>2,083,480,172</u>
	ニュージーランド (0.6%)		
	不動産投資信託 (0.6%)		
5,418,404	Goodman Property Trust	0.6	841,020,507
	ニュージーランド合計		<u>841,020,507</u>
	シンガポール (47.5%)		
	不動産投資信託 (47.5%)		
23,903,700	Ascendas India Trust	2.1	3,048,158,330
19,300,984	Ascendas Real Estate Investment Trust	3.2	4,564,459,155
36,033,902	CapitaLand Commercial Trust, Ltd.	3.6	5,179,796,350
36,012,800	CapitaLand Mall Trust	4.4	6,317,877,403
24,562,700	CapitaLand Retail China Trust	1.9	2,676,601,177
25,210,502	ESR-REIT	0.7	1,032,632,551
17,025,278	Frasers Centrepoint Trust Class REIT	2.6	3,671,020,953
13,911,100	Frasers Logistics & Industrial Trust Class REIT	0.9	1,333,127,250
54,786,538	Keppel DC REIT Class REIT	6.8	9,823,139,029
13,862,200	Keppel REIT	0.9	1,317,727,835
21,100,000	Lendlease Global Commercial REIT	1.0	1,402,391,770
30,567,433	Mapletree Commercial Trust	3.4	4,960,971,266
31,935,300	Mapletree Industrial Trust	4.6	6,614,457,681
85,952,420	Mapletree Logistics Trust	8.6	12,289,049,262
2,267,500	Parkway Life Real Estate Investment Trust	0.4	601,076,659
18,400,000	Sasseur Real Estate Investment Trust	0.8	1,123,397,265
17,050,000	Suntec Real Estate Investment Trust	1.6	2,240,070,840
			<u>68,195,954,776</u>

アジア好利回りリート・ファンド

株数	銘柄名	純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	シンガポール合計		68,195,954,776
	タイ (1.6%)		
	不動産投資信託 (1.6%)		
19,300,000	Frasers Property Thailand Industrial Freehold & Leasehold REIT	0.7	1,048,978,972
18,916,000	IMPACT Growth Real Estate Investment Trust	0.9	1,306,149,907
	タイ合計		2,355,128,879
	普通株式合計 (取得原価：125,913,170,991円)		138,162,345,259
損益を通じて公正価値で測定する金融資産合計		純資産比率 (%)	公正価値 (単位：円)
	普通株式合計	96.2	138,162,345,259
	負債を超過する現金およびその他の資産	3.8	5,489,270,586
	純資産	100.0%	143,651,615,845

マネー・マーケット・マザーファンド

第10期 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

信託期間	無期限 (設定日: 2011年5月31日)
運用方針	主として、円貨建の短期公社債および短期金融商品に投資し、安定した収益の確保を目指します。

■最近5期の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
	円	期中騰落率 %		
6期 (2017年3月1日)	10,033	△0.1	66.0	137
7期 (2018年3月1日)	10,025	△0.1	76.9	90
8期 (2019年3月1日)	10,019	△0.1	74.1	89
9期 (2020年3月2日)	10,013	△0.1	80.6	77
10期 (2021年3月1日)	10,002	△0.1	75.9	76

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■当期中の基準価額と市況等の推移

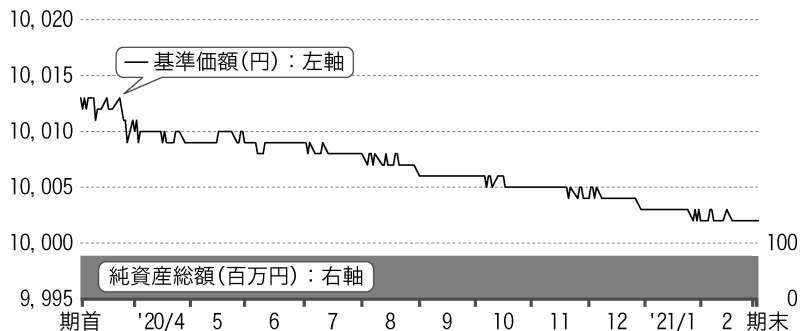
年月日	基準価額		債券組入率比
	円	騰落率 %	
(期首) 2020年3月2日	10,013	-	80.6
3月末	10,010	△0.0	77.0
4月末	10,009	△0.0	76.9
5月末	10,009	△0.0	74.4
6月末	10,009	△0.0	74.4
7月末	10,008	△0.0	74.3
8月末	10,006	△0.1	75.7
9月末	10,006	△0.1	75.7
10月末	10,005	△0.1	75.6
11月末	10,004	△0.1	75.5
12月末	10,003	△0.1	75.7
2021年1月末	10,002	△0.1	75.6
2月末	10,002	△0.1	75.9
(期末) 2021年3月1日	10,002	△0.1	75.9

※騰落率は期首比です。

1 運用経過

▶ 基準価額等の推移について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

基準価額等の推移



期首	10,013円
期末	10,002円
騰落率	-0.1%

▶ 基準価額的主要変動要因 (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当ファンドは、円建ての公社債および短期金融商品などへ投資しました。

下落要因

・日銀によるマイナス金利政策が継続され、主要投資対象である短期公社債や短期金融商品におけるマイナス利回りが続いたこと

▶ 投資環境について (2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期の短期金利は上昇しました。

新型コロナウイルスの感染拡大により景気が大きく落ち込んだことや、物価上昇率の伸びが下落に転じたことから、日銀は「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」政策を維持し、日銀当座預金の一部へのマイナス金利付利を継続しました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは、期初から世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大し、リス

ク回避の動きが強まったことから、安全資産としての短期国債への運用ニーズの強まりを背景に3月下旬に利回りは一時-0.4%台まで低下しました。その後、過度な国債需給の引き締めに対し、日銀が保有国債の売り現先（買い戻し条件付き売却）を断続的に実施したことから徐々に需給が緩和し、利回りは上昇に転じました。また、政府による大規模経済対策が策定され、5月から短期国債が大幅に増発されたことから利回りは上昇基調をたどりました。しかし、日銀が短期国債買入額を増額したことから利回り上昇は一服し、その後は-0.10%を挟んで概ねレンジ内での推移となりました。

国庫短期証券3ヵ月物利回りは期首-0.199%に対し、期末は-0.110%へ上昇しました。

▶ ポートフォリオについて(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

短期金利は低位での推移が継続するとの見通しから、残存0年から1年3ヵ月までの円建て公社債および短期金融商品で構築したポートフォリオを維持しました。また、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮しながら、短期公社債の組入れを行いました。

▶ ベンチマークとの差異について(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

② 今後の運用方針

2%の物価安定目標の達成が展望出来ない中、日銀によるマイナス金利政策が継続される見込みです。短期国債利回りやコールローン（金融機関同士のごく短期の資金の貸借）翌日物金利など、主要投資対象である短期公社債および短期金融商品の利回りは引き続きマイナス圏での推移を想定します。

残存0年から1年3ヵ月までの公社債や短期金融商品で利回りのマイナス幅が小さい投資対象を選定し、マイナス利回りの影響を抑制することに配慮して運用を行います。

■ 1万口当たりの費用明細(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) その他費用 (その他)	1円 (1)	0.007% (0.007)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	1	0.007	

期中の平均基準価額は10,006円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

■ 当期中の売買及び取引の状況(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

公社債

		買付額	売付額
国内	特 殊 債 券	千円 58,705	千円 — (62,000)

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※()内は償還等による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

■ 利害関係人との取引状況等(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

当期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況
(2020年3月3日から2021年3月1日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2021年3月1日現在)

公社債

A 債券種類別開示

国内(邦貨建)公社債

区 分	期				末		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	58,000 (58,000)	58,278 (58,278)	75.9 (75.9)	— (—)	— (—)	— (—)	75.9 (75.9)
合 計	58,000 (58,000)	58,278 (58,278)	75.9 (75.9)	— (—)	— (—)	— (—)	75.9 (75.9)

※()内は非上場債で内書きです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※一印は組入れなし。

B 個別銘柄開示

国内(邦貨建)公社債

種 類	銘 柄	期 末			
		利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
		%	千円	千円	
特 殊 債 券 (除 く 金 融 債)	第133回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.3	14,000	14,030	2021/4/30
	第135回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	15,000	15,041	2021/5/31
	第142回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.0	15,000	15,076	2021/8/31
	第152回 政府保証日本高速道路保有・債務返済機構債券	1.1	14,000	14,129	2021/12/28
	合 計	—	58,000	58,278	—

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 投資信託財産の構成

(2021年3月1日現在)

項 目	期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	58,278	75.5
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	18,881	24.5
投 資 信 託 財 産 総 額	77,159	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2021年3月1日現在)

項 目	期 末
(A) 資 産	77,159,018円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	18,809,548
公 社 債 (評 価 額)	58,278,230
未 収 利 息	71,240
(B) 負 債	389,247
未 払 解 約 金	389,196
未 払 利 息	51
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	76,769,771
元 本	76,752,334
次 期 繰 越 損 益 金	17,437
(D) 受 益 権 総 口 数	76,752,334口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C / D)	10,002円

※当期における期首元本額77,141,454円、期中追加設定元本額0円、期中一部解約元本額389,120円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※期末における元本の内訳は以下の通りです。

インド内需関連株式ファンド	119,759円
高成長インド・中型株式ファンド	17,711,132円
アジア好利回りリート・ファンド	99,971円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/年1回決算型)	7,742,960円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/年1回決算型)	1,337,053円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジあり/3カ月決算型)	4,909,194円
三井住友・ビムコ・ストラテジック・インカムファンド(為替ヘッジなし/3カ月決算型)	1,456,790円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし)	14,208,735円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ)	1,237,272円
三井住友・ニュー・アジア・ファンド	369,177円
アジア好利回りリート・ファンド(年1回決算型)	997円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(為替ヘッジなし/年2回決算型)	1,187,376円
日興ブラックロック・ハイ・クオリティ・アロケーション・ファンド(原定為替ヘッジ/年2回決算型)	389,132円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジあり)	289,352円
日興エドモン・ドゥ・ロスチャイルド・グローバルCBファンド(為替ヘッジなし)	419,066円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジあり)	4,140,881円
グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	11,065,647円
グローイング・フロンティア株式ファンド	2,185,185円
高成長インド・中型株式ファンド(年1回決算型)	7,882,655円

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

■ 損益の状況

(自2020年3月3日 至2021年3月1日)

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	641,537円
受 取 利 息	656,090
支 払 利 息	△ 14,553
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△716,530
売 買 損 益	△716,530
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,051
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 80,044
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	97,557
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 76
(G) 計 (D + E + F)	17,437
次 期 繰 越 損 益 金 (G)	17,437

※有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、保管費用等を含めて表示しています。

※解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

■ お知らせ

<約款変更について>

該当事項はございません。